

雑誌契約業務

OAは「雑誌契約業務」をどう変えるか？

大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)事務局
国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携協力室
守屋 文葉

OAは「雑誌契約業務」をどう変えるか？

- 「雑誌契約業務」は、紙から電子への移行で、既に中身・質を大きく変えている。
- 電子からOAへの移行は、紙から電子への移行ほどのインパクトを「業務」に対して与えることは、おそらくない。

- この先の図書館のとり道は二つに分かれる

← 図書館の姿勢, 図書館に対する学内評価に応じて

① OA (Gold OA) に関わらない

- 業務量はゆるやかに減少, それにつれて予算や人も
- 学術情報流通への関わりも薄れていく

② OA (Gold OA) に関わる

- 『学内におけるAPC支払(論文投稿)の把握』, 『ACPのボリュームディスカウントの交渉』等々の業務を担う (「機関支援」の窓口も?)

✓ 電子の契約において必要とされるスキル・経験が十分に図書館にあるなら, "Gold OA" 対応に関与するよう, 大学から図書館へ要請があるはず

- 学術情報流通への関わりがより深くなる(タイトルレベルから論文レベルへのコミットへ)

✓ 契約担当が"Gold OA"に関与することで, IR担当(="Green OA")との距離がいろいろな意味で縮まるかも

チャンス(研究成果発信への積極的な関与, 図書館職員の延命策)と見るか,
(購読モデルとの併存による)業務量の増大と見るか